

## 令和7年度 授業創造プラン

3年

教科	児童の実態 (Gテスト/学力調査を含む)	具体的な取組
国語科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字を読むことについてはおおむねできているが、書くことについては個人差が見られる。(Gテスト平均得点率：読み 89%・書き 79%)</li> <li>・物語文や説明文の読み取りについて、文章間の相互関係を理解することに課題がある。(Gテスト物語文の読み取り平均得点率 49%、説明文の読み取り平均得点率 43%)</li> <li>・表現については、言葉や文章で適切に表現することが苦手である。Gテストの表現の設問ではそれまでの設問の回答に時間がかかり、表現の設問を回答できなかった児童が多かった。(Gテスト平均正答率 22%、無回答 42%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックのミライシード機能や漢字スキルなど使って、既習の漢字や言葉についての理解を深める。</li> <li>・漢字の読み書きを暗記するだけでなく、言葉として捉えていくことができるように、生活の中で読んだり使ったりする機会を増やし、国語辞典を活用しながら語彙を豊かにする活動を設定する。</li> <li>・物語文「ちいちゃんのかげおくり」や「モチモチの木」の単元では、段落ごとの出来事と主人公の心情の関係を、叙述に沿って読み取ることで内容理解の力を付ける。説明文「すがたをかえる大豆」の単元では、それぞれの段落の中心となる文に線を引くことで、内容の理解につなげ、どのような順序で事例が挙げられているのか文章の工夫を捉えられるようにする。</li> <li>・「食べ物のひみつを教えます」の単元では、「すがたをかえる大豆」の学習を基にして、段落や事例の順序など文章の組み立てを考え、分かりやすく説明する文章を書くことができるように活動を設定する。</li> </ul>
算数科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算の筆算やかけ算などの計算は、平均得点率が高く無回答もほとんどいなかったため、取り組みやすく、得意とする児童が多いことが分かる。(Gテスト平均得点率：たし算とひき算の筆算 81%、かけ算 91%)</li> <li>・グラフの読み取りはほとんどの児童ができており、定着が見られた。(Gテスト平均得点率：グラフの読み取り 88%)</li> <li>・長方形と正方形の説明、テープ図の選択や数直線の読み取りを苦手としている児童が多く見られる。(Gテスト平均得点率：長方形と正方形 57% テープ図の選択 56% 数直線の読み取り 65%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロームブックのミライシード機能や、デジタル教材を使って既習の計算についての理解を深める。</li> <li>・「まるい形を調べよう」や「三角形を調べよう」の単元で図形の特徴を詳しく調べ、その他の図形との違いに気付けるようにする。</li> <li>・「数の表し方やしくみを調べよう」の単元では、数直線の1目盛りあたりの大きさに着目して数直線上に小数を表し、目盛りを読んだり、小数を数直線に表したりする方法を説明する活動を通して、1目盛りあたりの数を意識して読ませるとともに、数直線やテープ図の活用に慣れることを目指していく。</li> </ul>